

～被災地で産業の復興のために何が起きているのか～

2019年度 戦略的研究プロジェクトチーム

研究チーム名： 東日本大震災津波被災地等における食産業クラスターの新展開

リーダー：総合政策学部 准教授 新田義修

サブリーダー：植田真弘（岩手県立大学、名誉教授）千葉啓子（岩手県立大学、名誉教授）

分担研究者：山本健（総合政策学部、教授）

技術キーワード：食産業クラスター、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）、HACCP

▼はじめに

岩手県沿岸地域の漁業・水産加工業は、被災地域の基幹産業として位置づけられている。

そこで、本研究では、先行事例を分析することで、他の被災地域の復興を加速させるための要因を明らかにする。

▼分析方法

1. 調査対象：「チーム漁火」・宮古地域の水産加工業者、単位漁協他
2. 調査内容：チーム及び個別企業の経営戦略、HACCP導入に関わる現状と課題他
3. 調査期間：2018年4月～2019年3月
4. 分析手法：面接調査、アンケート、統計データを活用した分析

▼結果と考察

1. 岩手県経済成長率をみると、震災後（2013）に経済成長率が低下していた。
2. 特に、農林水産業、建設業の成長率は、マイナス（2014⇒2015）であった。
3. 宮古地域のサケ、イカ（スルメイカ）の水揚量は、2015年以降減少していた。
4. 組織活動は、「結束型」から「ブリッジ型」へと活動内容に変化が見られた。

▼まとめ

1. 本研究で得られた成果を他の事例との比較を行い、新展開による次世代の食産業クラスターのあり方を検討する。
2. 残された課題としてHACCP導入について検討を続ける。
3. 調査実施にあたり、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

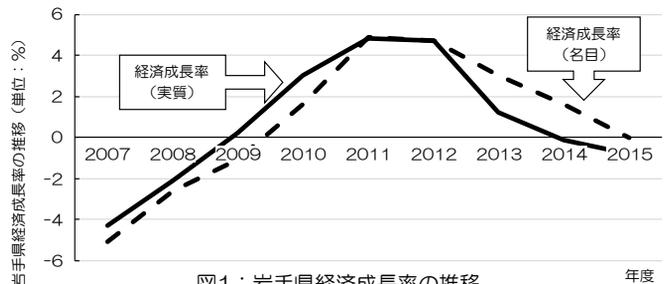


図1：岩手県経済成長率の推移

資料：岩手県政策地域部 調査統計課 「いわての統計情報」より作成。
<http://www3.pef.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/topMain.html>

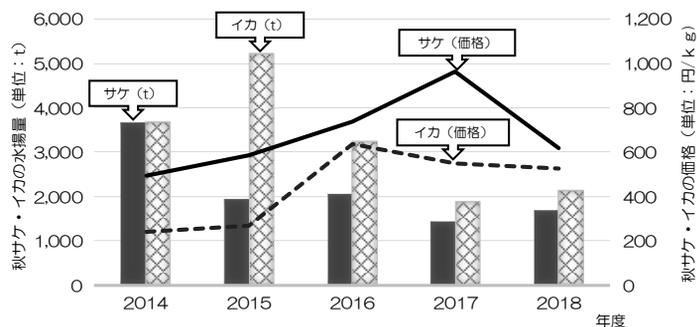


図1：生秋サケ・イカの水揚量・価格の推移（宮古）

資料：一般社団法人漁業情報サービスセンター（JAF I C）
 「おさかなひろば」市場別産地情報より作成

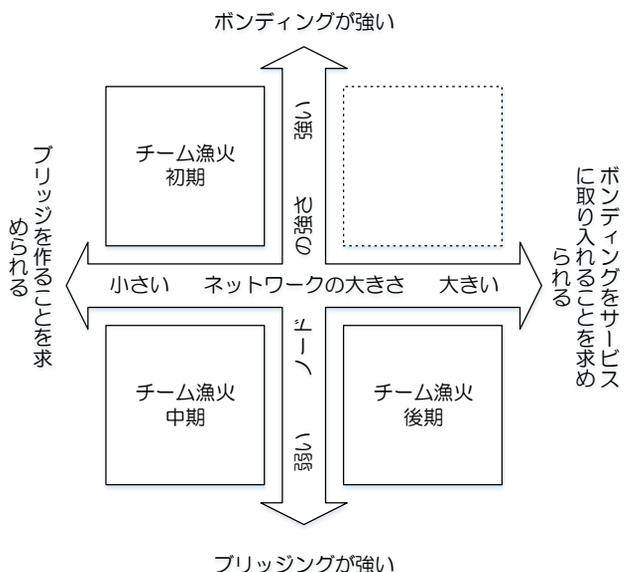


図1：ソーシャル・ネットワークの類型と事例の位置づけ
 資料：入山章栄、「リアルとデジタルのネットワークで働く、真逆の力 世界標準の経営理論」（Kindleの位置No.199）、ダイヤモンド社、Kindle版、図表4より修正の上、作成。